

令和6年8月9日

# 子育てを共に

No.3

つくしこども園

「心も体も健康な子どもに育てましょう！」

世界中で猛威をふるっている、新型コロナウイルス感染症等、時代を超えていろいろな感染症が流行し、心配が付きにくい今日です。

また、病気の他に、毎年増え続けている虐待や子殺し、親殺し、青少年の殺人、自殺、傷害事件等、悲惨な事件のニュースが後を絶たない今日です。

1年生から授業が成り立たない小学校や、学級崩壊、悪質・陰湿ないじめ、不登校、引きこもり等の問題も多くあります。また、暴力、殺傷事件の横行等と、青少年の非行問題が益々低年齢化して増加し、尊い命もたくさん失われております。“その原因は？”“背景にあるものは？”など、子どもの心の育ちを巡る問題の対応策については、警察の動員にまでなり、憂慮されております。

新潟市内でも、虐待や発達障害等の問題は、たくさん出ており、幼稚園・こども園・保育所での「気になる子」が年々増加していて、規定の職員配置では、丁寧な個別対応が出来なくて、苦慮している今日です。

全国的にも、保育園やこども園、幼稚園での、様々な問題を持つ「発達障害児」が、どんどん増えてきている今日から、大きな問題になっています。

そのケースを掘り下げてみると、子ども達の育ちの中に、共通した問題点が見えてきているようです。それは、家庭環境だったり、親としての自覚不足だったり、親の愛情不足だったり、逆に溺愛や過保護、過干渉だったり、未熟な親による虐待だったり、様々です。

子どもにとって、**家庭は、一番安心できる基地**です。  
でも、その大切な家庭が危機なのです。



p.2



今日では、核家族化、両親共働き家庭が当たり前になり、子育てが困難な時代になっております。特に、父親の単身赴任や残業等で、帰宅時間が遅いご家庭では、母親の育児負担が大きくなっています。そして、親子共に、いろいろな問題が発生しています。家庭だけでの子育てには、限界があり、こども園、保育園等や、地域ぐるみの育児支援が必要とされています。

そのため、大切な乳幼児期の保育支援を任されている、こども園・保育園の役割は多様化し、責任も一段と重くなってきています。

少子高齢化が、益々進行する時代の中で、かけがえのない大切な子ども達です。0歳から3歳までの大切な時期に、子ども達が全員「人間」としての基礎をしっかりと築いていけるように、当園では全職員挙げて、全家庭と共に子育て支援を、一生懸命頑張ってお参りしております。

④ 「生きる力」を身につけ、新しい時代を切り開く、積極的な心を育てる。

◎ 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力

## 生きる力

④ 正義感、倫理観や、思いやりの心など、豊かな人間性を育もう

◎ 正義感や倫理観等の豊かな人間性

◎ 健康や体力

◎ 美しい物や、自然に感動する心などの柔らかな感性



## 豊かな人間性

◎ 正義感や、公平さを重んじる心

◎ 生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観

◎ 他人を思いやる心や、社会貢献の精神

◎ 自立心、自己抑制力、責任感

◎ 他者との共生や、異質な物への寛容等の心が、子ども達に育まれるように、私たち大人は、足下を見直して改めるところは改め、様々な工夫をしながら努力して参りましょう。